

ジャンボタニシにご注意ください！！

ジャンボタニシは正式名称をスクミリンゴガイといいます。
在来タニシよりも丸みを帯びた貝で、ピンク色の卵を産みます。
イネを食べることもあるため注意が必要です。



△南米原産の巻貝
日本のタニシより大型



△卵は鮮やかなピンク色



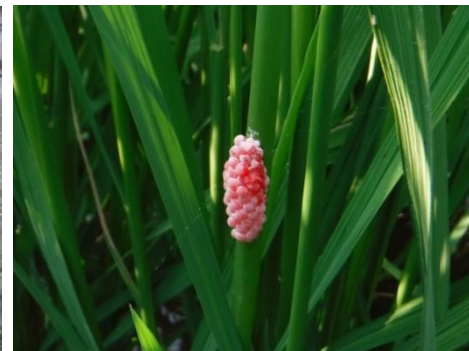
△イネを食べることも！

田植え期～水稻生育期に実施する対策

○用水路の卵や貝を除去しましょう

卵塊を早めに水の中に落とすか、つぶして卵が孵化しないようにします。

※貝や卵塊を扱う場合は、寄生虫が感染している場合があるので、必ずゴム手袋をしてください。



△手(左)や棒(中)などで卵塊を水中に落としましょう。稲株にも産卵することがあります(右)。

○田植え後の浅水管理も有効です。

貝が稲に被害を及ぼすのは、茎が固くなってくる田植え後約3週間までです。

水深を4cm以下に保つと実害があまり出ません。

○登録のある農薬で防除しましょう

- ・スクミンベイト3 2～4kg/10a、発生時
- ・スクミハンター 1～2kg/10a、収穫45日前まで、3回以内
- ・キタジンP粒剤 3～5kg/10a、本田初期、2回以内
- ・スクミノン 1～4kg/10a、収穫60日前まで、2回以内

※農薬のラベルに記載された使用方法、使用上の注意事項を守って使用しましょう。